

R7地域こん談会まとめ

案件番号	自治会	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	穂田野町	サンガ練習場候補地の有効活用について 穂田野町では少子高齢化が進んでおり、高齢化率が市内の中でも高いです。このまま行くと、限界集落となってしまうのではないかと危惧しており、何とか賑わいを持たせたいと思っています。最近、大谷高校のグラウンドが完成し、今後親善試合等で、保護者や応援隊が来るのが見込まれるため、そうした方々を湯ノ花温泉や穂田野町巡りに結び付けていきたいと考えています。それに併せて、約13ヘクタールの農地を、湯ノ花温泉や運動公園にも近いと思ってサンガの練習場候補地として応募し、ベスト8には残ったものの、そこで落選となってしまいました。落胆はしたが、あの土地については立地的にはメリットの多い土地だと思っているので、この土地の有効活用について考えて欲しいと思っています。 今後、どのように有効活用していくのか、市や議員、区長の方々の考えが知りたいです。	サンガ練習場候補地には18か所の応募があり、最終的には4つに絞りました。選定に当たっては、「土地の広さや形状」、「JR各駅からのアクセス」、「開発に関する法令」等を軸に検討を行ったところです。選定された4つの候補地については、アクセス面での優位性があったというところが、穂田野町とは異なった部分でございます。 また、法令的なこともございまして、当該土地は農振農用地であり、これは、令和5年4月付けで農業経営基盤強化促進法が改正されたことにより、地域でその土地をどう活用していくかという地域計画を定められているところです。言わば現状は、地域としてこの土地は農地として活用していくと、皆さんで決められた土地となっております。 しかし、地域の発展に寄与する良い土地ではあるかと思っておりますので、今後、どのようにこの土地を活用していくのかについては、関係部署等とも協議しながら考えていきたいと思っております。	政策企画部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 アクセス面での優位性とは何でしょうか。	一番大きな要因は、JRの各駅からの立地でございます。	政策企画部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 JRの駅の利便性だけで考えると、そこから離れている土地は、最初からどうしようもなかったということですか。	JRの駅からの利便性は、あくまで選定理由の一つです。選定に当たっては、他にも地域の特性や価格帯等など、様々な面を考慮して決定したところです。また、決定は、亀岡市だけでなく、サンガやサッカー協会、京都府等とも協議をして行っております。	政策企画部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			今回は残念な結果にはなりましたが、18か所も候補地が出てきたのは、それぞれの地元が土地を活用したいという強い考えを持っていることは伝わりました。現在、京都縦貫自動車道が完成し、アクセスの利便性についても注目されている状況の中、民間企業から野球スタジアムを作りたいという話を聞いております。そのため、今後、野球場の候補地としてオファーをすることもあるかと思っておりますので、そのときはお願いしたいと思っております。	市長 (政策企画部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 野球場の話は、穂田野町の大きなプラスになると思うため、ありがたいと思います。今後も積極的な支援をいただきたいです。野球場に関して、現状、何か具体的なプランはあるのでしょうか。	具体的なプランがあるわけではありません。南丹市も含めて、インターチェンジ付近で候補地を探っておられる状況にある、ということです。	市長 (政策企画部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【補足】大石議員 穂田野町は人口も少なくなっているため、活気を求めるとなると、イベントや何かの候補地にエントリーをする、というようなものに頼るしかありません。土地の活用方法はいくつもあると思うので、野球場以外にも色々なご提案をいただきたいです。そうしたヒントをいただくことが大事だと思っています。	活用ヒントということではございますが、曾我部町の穴太区で、民間の土地区画整理事業が進もうとしている話がございます。これは、地権者側が案を出されて、この土地を工業団地にしていくため、この土地の地区計画も考えながら土地区画整理事業を予定されているということですので、進出する企業が決めれば、事業は進んでいくものと考えられます。そうした取組みも参考にしながら、穂田野町も土地の活用について考えていただけたらと思います。また、他のスポーツ施設等の誘致を考える際、今回エントリーいただいた18カ所には、積極的に情報提供をしていきたいと考えております。	市長 (政策企画部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

2	<p>穂田野町</p>	<p>平成3年頃、湯の花温泉を核とした西部地域を対象とする「ゆあみのさと」構想が策定されていたと聞か、あまり知られていません。 大石議員が、議会で質問されたことで、ようやく動き出したと認識しているような状況のため、 1 「ゆあみのさと」構想とはどのような構想なのか、教えていただきたいです。</p>	<p>1 「ゆあみのさと」構想は、穂田野町から本梅町にまたがる一部エリアを対象区域としている計画になります。 大石議員から令和5年6月議会に質問をいただきました。この湯の花温泉エリアについては、市街化調整区域にあたるもの、都市計画法第34条第1項第2号に規定する鉱物資源、観光資源の有効な利用上必要な建築物等の建築が可能なエリアとして指定されているところです。 「ゆあみのさと」構想については、対象区域となっている湯の花温泉エリアにおける、こうした開発行為の基本理念や方向性を示すものとなっています。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>2 昨年度に「ゆあみのさと」構想検討委員会が立ち上げられたが、今後どう検討しようとする考えでしょうか。</p>	<p>2 第1次「ゆあみのさと」構想は、経済成長の回復期にあった平成8年に、大規模な設備投資を伴う夢のある計画として策定されました。しかし、30年が経過した現在、計画をそのまま進めることは現実的ではありません。 そこで、湯の花温泉の特性を活かし、現代のニーズに合った新たな構想を再構築する必要があると考えております。昨年度より、第2次「ゆあみのさと」構想の策定に向け検討委員会を立ち上げ、竹岡会長には委員としてご尽力いただいております。現在、湯の花温泉の利用者分析や、他地域の成功事例を参考にしながら検討を進めており、今年度末を目途に新構想を取りまとめる予定です。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>3 湯の花温泉が温泉郷としてにぎわい、穂田野町の活性化に繋がって欲しいと願うので、是非とも具体的な構想をまとめていき、開発に繋げていただきたいです。</p>	<p>3 湯の花温泉の多くの部分が土砂災害警戒区域に指定され、近年、各地の豪雨災害により土砂災害が頻発していることから、開発行為には一定の制限がかかってくることも事実です。しかし、湯の花温泉は、本市における宿泊需要の最大の受け皿であり、このエリアの活性化は亀岡市の観光の活性化に直結するものと考えていることから、市としても積極的に支援してまいりたいと思っております。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 現在、具体的にこういうものにしていくという計画はないのでしょうか。</p>	<p>当時の「ゆあみのさと」構想では、日帰り入浴でお客様を呼び込むなどを盛り込んだ計画でしたが、現在は作成途中のため、具体的な計画が示せるようなものではありません。また、源泉の流出量が減っており、湯量（第三源泉）が足りないという状況があるため、第四源泉の掘削作業等も考慮した計画にしていきたいと考えております。そのため、策定には時間を要することにはなりそうですが、今後も、順次見直しをしながら進めていきたいと考えております。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 第1次の構想は、正直かなり非現実的なものを感じたため、次の構想では、より現実的な構想が必要だと思っております。今言われたように、湯量が足りない状況もあるので、温泉宿単体ではなく、一つの温泉郷として、活性化させ、お客様を呼び込む必要があると考えています。現在は、温泉郷としてのまとまりが薄いように感じるため、温泉郷として、湯ノ花温泉全体の環境を整えていくことが必要です。お客様が宿の外に出た際、周囲に宿以外の施設がなく、外に出ることもできない現状があるため、近くに土産物屋や足湯などの集客施設を建てるなど、努力をしていかないと今後の活性化は難しいと思っております。周囲一帯をお客様が散策できるような仕組み作りができないか、その辺りにも意見をいただきたいです。</p>	<p>湯の花温泉の松の井跡地については、民間が購入し、補助金を使い除却を行っている状況であり、今後跡地を活用していただく形をお願いをしています。有楽荘跡地については、民間企業から、国のまちづくり関連の補助金を利用して活用できないかと相談を受けており、補助が決まれば、市としても支援して稼働させたいと考えております。そうすると、湯量の問題はずっとつきまとうものであるため、第四源泉の掘削作業等も含めて検討を進めていきたいと考えております。下流に新たな宿泊施設やカフェができたり、つつじ荘も売りに出されたりと、色々状況も変わってきていると思うので、夢のある話よりも、もう少し現実的、具体的な案を作っていく、その中で、民間企業への動機付けも考えていく所存です。</p>	<p>市長 (産業観光部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 湯の花温泉を盛り上げていく手法として、例えば、桜祭りやもみじ祭りといった行事も考えながら、6軒の温泉施設が互いに知恵を出し合って、「温泉郷」として全体を盛り上げていく意識改革と気概が必要だと感じており、亀岡市の3大観光の一つとして、市からもご支援をいただきたいと考えています。 ところで、地元に住んでいる我々は、宿泊客の推移が全く分かっていません。市は、宿泊客の人数や、どういった客層なのか等の情報をきちんと把握しているのですか。</p>	<p>昭和58年から毎年、客数については、それぞれの温泉から情報をいただいております。一番多かったのは平成27年頃で、年間25万人程度であったと聞いています。客層の推移としては、昔は宴会が多く、まとまったお客様が見込んでいたが、今はそういった需要は減ってきている状況です。反対に、外国人観光客のインバウンド需要は大きく増加しており、長期の滞在も見込めることから、客単価は上がっております。また、昔は京都の観光ということで、修学旅行者が来られることも多くありましたが、今は外国人の方が京都観光で宿泊されることが多く、修学旅行としての需要は小さくなっていると考えています。旅館側も、そうした客層の変化に苦慮されている部分もあるかとは思いますが、コロナ禍も明け、少しずつ宿泊需要は回復に向かっていく状況です。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

R7地域こん談会まとめ

		【質問等】 花火大会やサンガの試合など、お客を呼び込むタイミングは増えていると思うが、シャトルバスを出すなど湯の花温泉側ときちんと情報連携はできてますか。	そうしたイベントの際は、湯の花温泉側とも連携をしております。花火大会やサンガの試合の際には、宿泊セットなども売りに出されている状況です。	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 それは、どれくらいの人気があるのでしょうか。	大きい需要があると聞いております。今はインバウンドが盛んであるため、客単価を上げる方向に進んでおり、入り込み客数を増やすのではなく、一人当たりの単価を上げることによって収益を上げていると聞いています。これは、湯の花温泉だけでなく、保津川下りでも同じです。一人当たりの満足度を向上させる方に進んでいるため、客数は減っているものの、経済効果としては大きくなっている状況にあります。スタジアムができてから市外の人が気づいてきた"亀岡は京都や大阪から近い"という利点を活かし、旅行会社とも連携しながら、そうした旅行者の取り込みを進めているところです。	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 インバウンド需要で宿だけが儲けるようなものではなく、穂田野町民全体が満足するような湯の花温泉の活用であって欲しいと思っています。例えば、温泉の近くに花畑を作ってもらって、地元の方に喜んでもらう等、そういうアイデアを温泉側に提示いただく等は今までなかったのでしょうか？	例えば佐伯の里は温泉側と一緒に観光の盛り上げを連携されています。他にもコスモス園、大石酒造なども、観光連携で賑わっていると聞いております。引き続きそうした取組みや、市や関連団体、事業者などが一緒になったPR方法などの検討を行っていきたく考えています。	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 温泉郷の入口を華やかにしていかないと、そもそもお客が中々穂田野町の奥までやってこないのではないかと思います。地元の者が行きたいと思うような場所でないとお客は来ないように感じます。	全て大変良いアイデアだとは思いますが、行政がそれら全てを行うわけではありません。あくまでも、民間企業がどう動くか、ということが重要であると認識しています。市としても、民間企業への働きかけは継続的に行っていく所存です。	市長 (産業観光部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
3	穂田野町	市道湯の花温泉線の歩道設置事業の早期完了について 国道372号線から交差点までの区間の歩道が未設置の状態である。この場所は、路側帯が狭く、通学路として交通事故の危険性も高いため、早急に国道372号線までの歩道設置を完了して欲しいです。これが完成すれば、国道と太田鹿谷線を結びたいとも考えています。現在の進捗状況と今後の見通しを教えてください。	市道湯の花温泉線の歩道整備につきましては、平成25年度から28年度にかけて約250mの区間整備を完了しております。しかしその後は豪雨災害の影響で河川工事に予算が回されたことや、コロナ禍で国の交付率が上がらなかったことなどが原因で、進捗が鈍っていました。未整備区間の事業進捗につきましては、昨年度4件の用地買収が完了し、今年度も引き続き各地権者との用地協議を進めているところです。また、工事につきましては、今年度、一部の排水関係の工事を実施する計画であり、その後も順次整備を進めていきたいと考えております。引き続き地元の皆さまの御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 今後の見通しはどのようなのでしょうか。	当初は平成25年から平成28年度の4カ年で、250mの区間が一気に進みましたが、その後は平成30年の豪雨災害やコロナ対策に経費を割かれ、かつ、国の補助金の交付率も上がらない状況で、進捗は芳しくない状況です。しかし、昨年度あたりから、この歩道整備に使用できそうな新たな補助事業を国が始めたため、ここからはより迅速に事業を進めて行きたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 事業を進めるに当たって、同意をもらえていない地権者はどれくらいいるのでしょうか。	650メートルの区間に20名の地権者がおられ、9名の方には同意をもらっている状況です。11名の方とは現在も協議を進めているところで、用地契約率としては約45%でございます。建物の位置によっては、本線の位置を変えざるを得ない場所もあり、測量の見直し等も行っているところですので、そうしたところにも時間を取られているのが現状です。今後、用地交渉が難航する部分がありましたら、自治会のご協力をお願いいたします。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

4	稗田野町	<p>鳥獣被害対策の強化について</p> <p>イノシシやシカ等の有害鳥獣による被害が多発しています。各自で、電気柵等を大量に設置して対策をしているが、特にイノシシは池の堤防を破壊したり、畑を掘り返したりするため、大変困っている状況です。猟友会の方にも入ってもらっているが、駆除が追いついていないように感じます。捕獲の強化や、積極的な国の施策を活用した個人への補助金の充実など、被害対策の強化を強く要望します。</p>	<p>本市におきましては、国の交付金を活用した侵入防護柵の設置支援や猟友会への捕獲・駆除の業務委託により、山から集落へやってきた有害鳥獣の侵入及び定着を防ぐなど、駆除活動を強化しているところです。猟友会への駆除委託により、昨年度では市内全域で約800頭のシカ、イノシシを捕獲・駆除したところです。、豚熱が流行った令和3年には、山でもたくさんのイノシシが死んでおりました。一方で、鹿の数が増えているという状況もあり、それに比例して捕獲数も増えております。</p> <p>稗田野町では、昨年度、太田農家組合が国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、全長500mの金網柵を設置されたところです。引き続き、今年度も440mの金網柵の設置に向けて、調整を進めているところです。</p> <p>有害鳥獣対策は、鳥獣の捕獲や防護柵の設置、刈払いによる隠れ場の撲滅といった取組を総合的に実施することが重要であり、集落が設置した防護柵と農地に侵入してくる個体の捕獲とを組み合わせることで、引き続き、農作物被害の削減に取り組んでまいります。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>また、防護柵の設置につきましては、国の鳥獣被害防止総合対策交付金や多面的機能支払交付金などを活用し、地域の実状に応じた対策に取り組んでいただいているところですが、今年度からは、本市の林業振興及び森林環境対策事業補助金交付要綱の一部を改正し、認定農業者や認定新規就農者、地域計画に位置付けられた農業者の方等が新たに防護柵を設置する場合に、50万円を限度に1/2の補助金を交付する制度を設けております。</p> <p>今後も引き続き、農作物被害の減少に向けて取組を継続していきたいと考えておりますので、地域で防護柵等の設置をご検討の際は、農林振興課までご相談いただければ幸いです。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】 原野議員</p> <p>太田区に住んでいるが、実際鳥獣を見かけることが多いように感じます。鳥獣対策の一つであるバッファゾーンを稗田野町で活用することについて、市の考えを教えてください。</p>	<p>バッファゾーンの利活用は可能だと考えますが、その管理には大変な手間と大きなコストがかかります。どう活用すべきか、どう対策すべきか、ということについて、また農林振興課と協議いただければと思います。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
5	稗田野町	<p>子ども達が安全安心に登下校できる環境づくりについて(下佐伯区)</p> <p>市道吉川蓮田野線の佐伯南中線は、道路幅が狭い上に交通量が多い状態です。少し前には、小学生と乗用車の接触事故も起きたことから、地元としても問題視しています。そうした流れもあり、稗田野神社入口までの間については、通学時間に合わせて車両・バイクの「通行規制」が実施されているが、いまだに進入してくる車両が多数見受けられます。</p> <p>駐在所にも支援を依頼しているところではあるが、かなりスピードを出す車も多く、危険な状態です。関係機関と連携し、もっと効果的な対策を実施して欲しいです。</p>	<p>稗田野神社前交差点から佐伯南中線までの間については、令和6年4月1日から午前7時30分から8時30分まで車両通行禁止となりました。</p> <p>また、亀岡警察署にも状況を確認したところ、「令和6年4月の変更時には、啓発、周知を含めて取締りを行っていたが、当該時間帯は当該区間の始点と終点に地元でバリケードを設置しており、物理的に侵入が不可能としていただいていることから、現在は取締りを行っていない」という回答をいただいております。</p> <p>市としては、6月末に亀岡警察署に対して、定期的に取り締りを行っていただくよう要請いたしました。また、通行規制区間の手前にある4つの立て看板についても、増設やより分かりやすい場所への位置変更等を警察署と連携しながら対応したいと考えているところです。</p> <p>車両の通行規制標示の増設等につきましては、国道、府道、市道を問わず、京都府公安委員会の所管であり、京都府公安委員会に直接ご提案いただける「府民協働型インフラ保全事業」により、地元自治会から応募していただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、今年度の応募期間は5月末に既に終了しているため、来年度の応募に向けて亀岡警察署の交通課に一度ご相談いただけますようお願いいたします。</p> <p>本市としましては、関係部署と連携し、引き続き亀岡警察署に対し交通安全対策を講じていただけるよう働きかけてまいります。</p>	総務部	⑥その他	稗田野町自治会、稗田野町小学校校長、亀岡警察署、駐在員、交通安全協会、地域交通安全活動推進員、市土木管理課、市教育委員会、自治防災課で、当該箇所において、8月29日に学校の2学期が始まるタイミングで、街頭啓発活動をいたしました。
		<p>【質問等】</p> <p>バリケードがされているというのは見かけないので、どのようなものなのかと思います。市内において、全面通行禁止というのはかなり珍しい例だとは思いますが、役に立つ対策とし、機能させていきたいと考えています。また、通行規制の標識が分かりづらいのではないかも思うため、曾我部町に設置してある通行禁止の看板を参考にしながら、警察とも協議して、より分かりやすい規制の表示をしていきたいと思っています。市でそのような看板を設置することは可能でしょうか。</p>	<p>公安委員会の案件かもしれませんが、こちらでも所管部と連携し、一度検討いたします。</p>	総務部	②実施予定	自治会と、土木管理課と看板設置等に向けて調整中です。

R7地域こん談会まとめ

6	稗田野町	<p>次世代も持続できる「農業環境」の整備について（下佐伯区）</p> <p>令和5年度と令和6年度に200万円以上の経費をかけて山内川の改修工事を行ったが、その下流にある井堰については、設置から30年余りが経過しており、大規模な修繕が必要となっています。</p> <p>京都府が設置した施設ではあるが、設置の際に80万円の一時金とともに管理を地元へ依頼されている経過があり、京都府に修繕を依頼することは難しいと考えています。しかし、修繕には200～300万円程度の金額がかかると見込んでいるため、修繕工事に対する助成制度の創設など、次世代も継続できる農業施策を早急に検討して欲しいです。</p>	<p>当該地域において、一級河川山内川及び菰川に三箇所のファブリダムがあることは認識しており、また、設置から30年余り経過していることも確認をしております。</p> <p>こうした施設は、農業を行うために用水を河川から取水するための重要な施設であり、水稻等の営農を続けるには必要不可欠な施設であることも認識をしております。</p> <p>当該修繕に対し、補助事業のメニューはあるものの、採択については条件もあり、当該井堰が条件に合致するかについては詳細に検討する必要があり、農業用施設のため、地元負担も発生することになりますので、担当課である農地整備課へご相談いただきたいと思っております。</p>	産業観光部長	⑥その他	<p>ファブリダムの修繕については、地元として多面的機能支払交付金を活用することで考えていかれると聞いています。こん談会時の回答のとおりです。</p>
7	稗田野町	<p>環境先進都市としてのまちづくり（下佐伯区）について</p> <p>染色工場からの排水により砂川と山内川の変色が続いています。</p> <p>当該工場の案件について、市も繰り返し対応をされていることは承知しているものの、抜本的な解決には繋がっていないように感じます。子どもたちにとって魚とりができる川であり、私たちが環境先進都市の市民として胸を張れる「ふるさと川」となるよう対応して欲しいです。</p>	<p>令和4年から南丹保健所と連携しながら継続監視を続けており、直近では今年6月に当該染色工場を訪問し現状を確認しました。</p> <p>染色工場からの排水については、経営者も改善の意思を示しており、工場内の排水の一部は既に下水管へ接続されているものの、抜本的な解決には多額の費用がかかるとも聞いています。</p> <p>色水が排水される主な要因は、機械や道具を洗浄する際のものであり、移動が可能な物は下水と接続された洗浄設備にて洗浄されており、砂川へは排出されないよう改善が図られています。</p> <p>しかしながら、工場内の勾配などの関係から下水接続が困難な部分があり、移動できない大型機械等を洗浄する際の排水は、未だ砂川へ放流されている状況であります。マスがうまく機能していないところもあるかと思っておりますので、マスの改修についても協議したいと考えているところです。</p> <p>また、参考といたしまして、直近の水質検査において、人体に有害な物質は検出されなかったというところはございますが、色水が排出されている状況に変わりはないため、本市としては、京都府南丹保健所と連携を図りながら、今後も粘り強く事業者には働きかけを行っていきたくと考えております。</p>	環境先進都市推進部長	⑥その他	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】</p> <p>吉田の井堰まで流れた水については、その場所に溜まることになるので、工場側が月に一度だけ色水を流されたとしても、ずっと色水が溜まっている状況となっています。仕方ない事情も分かるが、できればきれいな水であって欲しいと住人は願っています。ところで、なぜ着色した水が流れるかについては分かっているかと思うが、実際にどのような色の水となっているのかご存知でしょうか。</p>	<p>紫色のような色と認識しております。</p> <p>引き続き、具体的な対策の検討と、協力的な指導をしております。</p>	環境先進都市推進部長	⑥その他	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
8	稗田野町	<p>国道372号と国営園場整備事業地間の市道拡幅について（下佐伯区）</p> <p>数年前の地域懇談会で要望した国道372号と国営園場整備事業地間の市道拡幅について、進捗状況を教えてください。</p>	<p>ほ場整備事業により整備された道路が市道上佐伯線（幅員2.5m）に接続している当該箇所は、道路幅員が狭く、車両の離合が困難な状況であることは認識しております。</p> <p>しかし、先ほどの太田鹿谷線の箇所など、いくつかの要望をいただいている状況でございますので、まずは湯の花温泉線の改修を優先することとしまして、それぞれの事業に優先順位をつけて対応していきたいと考えております。市道上佐伯線から国道372号へ出る当該区間については、およそ22mという延長ではございますが、警察や京都府との協議の中で、反対側に当たる交差点の方の道も同じように拡幅を行う必要があると思われます。そのため、実際に工事を行う区間としてはかなりの延長となっていることから、設計の委託から発注する必要があり、短期間で容易に事業を完了できるものではない、という状況でございます。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
			<p>自治会として優先順位を決めていただければ、順序立てて、迅速に事業を進めていく、ということでございます。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 大石議員</p> <p>この件に関して、何とか用地買収の金額を安くできないかと、地権者にも相談したことがあり、地権者からも協力的な意見はもっています。優先順位はあると思うが、安く、迅速にできる方法を今後も考えていただきたいです。</p>	<p>湯ノ花温泉線が最優先と聞いておりますので、まずはそちらに力を注ぎ、その後に順次対応していきたいと考えております。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>